



第65回千葉国体
110mハードル
少年男子B

優勝

おめでとう

一学年

江口 悠貴君

尚、同窓会の大きな事業でありました創立記念音楽会は、学園主催に移行することになりました。長い間御支援いただいた同窓生の皆様に、心から厚く感謝いたします。ありがとうございます。

同窓生の皆様、益々御壮健で日夜御活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会への御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。さて、母校は今年創立百十周年を迎えます。自立して生きることは、自分のためだけでなく、周りの人のためでもあることを示された創立者の理念は、今でも立派に生きています。その精神は、現在校是の礼と譲として受け継がれています。高校生らしく躍動して、常に前進して止まない母校の姿は、私達同窓生に誇りと勇気を与えてくれています。同じ九里学園で学んだ者としての絆を大切にして、更なる発展を祈念しております。

より一層の絆を

同窓会長 佐藤 せつ

(S二十三年卒)

記念音楽会

真実の歌 真実の愛

須貝沙織 (H22年卒)

九里学園創立百九周年記念音楽会は、中山エミさんをお迎えして行われました。ポピュラー、カンツォーネ、シャンソンと多くのレパートリーをお持ちの方で、素敵な歌声で会場を魅了する歌をたくさん届けてくださいました。

中山さんのコンサートのテーマは、「今届けたい、今伝えたい 真実の歌、真実の愛」でした。第一部はシャンソンやカンツォーネを中心に、平和であることこそが人間らしく生きる絶対条件だということを熱唱されました。また山形県ということで「さくらんぼの実る頃」など会場の方の心を掴んでいらつしやいました。第二部ではポピュラーを中心に全世代が分かる曲ばかりでした。「千の風になって」「愛燦燦」など、中山さんの心のフィルターをおした歌い方で感動しました。

中山エミコンサート

アンコールでは、聴衆の方がステージに上がり中山さんと一緒に歌ったり、会場が一体となって楽しいステージになりました。

このコンサートで、歌の素晴らしさ、音楽の素晴らしさを改めて実感することができました。中山さんが伝えたいこと全てが歌になって、会場全体に響き渡っていました。素敵な時間をありがとうございました。



同窓会主催から学校へ移行

四十五年間の感動のステージに感謝

同窓会の大きな事業として四十五年間続けてきました記念音楽会は、今年度の「中山エミコンサート」で主催を終了することに、十二月の役員会で正式に決定しました。音楽会は、昭和四十一年「坂本博士と歌おう」ではじまり、この間立川澄人、島田祐子、芹洋子、小椋佳、バレエ・オペラ・合唱・器楽・他沢山の出演者と感動の場面が生まれました。惜しまれてなりません。しかしながら学校に移

行するという結論になった理由としては、同じようなコンサートが増え、鋭意努力したにもかかわらず観客数の減少が顕著になったことが一番の原因にあげられます。また、生徒と同窓生が同じコンサートへの二ステージ制だったため、両世代が望む接点として、一つの音楽に絞りきれない難しさがあったということもあります。毎年楽しみにしてこの会を支えてくださった同窓生の皆様に心か

ら感謝いたします。主催としては終了しますが、九月十三日の創立記念日には、学校主催の芸術鑑賞として続けられる予定ですので、同窓会としてはその会に合流という形になります。「いいものに出会う」という音楽会の趣旨を引き継いで催されるものです。今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

学園近況

各部、各クラス全員集合!

校長 九里 廣志

今年、九里学園は百十周年を迎えます。長い歴史の中で、生徒たちが元気に学び、多彩な成果を数多く作ってきました。そのような「生徒の歴史」特に部活動での活躍の歴史を、この機会に整理し、クロージングアップしてみたいと考えています。

例えば、以前は華々しい活躍をしていた部でも、現在はなくなってしまうものがいくつかあります。フエニングやハンドボール、山岳などです。文化系の部でもそのようなものがあるのでしよう。今、私たちが先輩たちに現在の生徒の活躍の様子をお伝えしているのと同様に、先輩たちの活躍の歴史を、後輩たちにつかりと受け継ぎたいと思うのです。また、男子生徒が入学し「米沢女子」高校から「九里学園」高校に校名が変わりました。その一期生が卒業してちょうど十年を迎えます。昨年の国体での江口君の日本一など、男子生徒の活躍も目を見張るものがあります。卒業した男子諸君には、後輩のために、また同窓会のためにも、色々な場面で活躍できる力が備わってきた頃と思っております。期待しています。

今年を、高校時代を振り返り、また大きく飛躍するきっかけの年にしていただきたいものです。各学年が、各クラスが、そして各部が、この百十周年を機会に集まってみませんか?

職 場 訪 問

経験を授業ににじませたい

プロの美容師を育てる

安孫子睦子さん (旧姓 高山 S53年卒)

山形V.カレッジ ビューティビジネス科



「よいい はじめ!!」という快活な掛け声で生徒たちの手は俊敏に闇達にピンカールを仕上げていきます。そして個々人に例を示しながらアドバイスをしていく先生。その方が今回紹介する安孫子睦子さんです。

私達が訪ねた時はちょうど二月に行われる国家試験にむけての実技の授業中でした。

安孫子さんは、小学生の頃から日本髪的美しさにあこがれ美容師になりたいと思うようになったそうです。九里学園卒業後、山形の美容専門学校で学び「ヨシオ美容室」で長年修業され、その経験と実力を買われてV・カレッジのビューティビジネス科の先生になりました。

美容室での修業時代は指先を切ってしまうことも度々あったということ。そのきびしい徒弟制のなかで培われたものは、自分の手で美を作り出す喜びと、お客様との会話から明日への元気をもらうことだったそうです。

折々にその経験を授業のなかになににじませながら伝えていきなさいということ。この仕事で一番嬉しいことは、巣立っていった生徒が悩みながらも、プロとして頑張っている姿を見ることが出来る。逆につかき志を持

つて入学してきたのに中退してしまう生徒もいて、その時は自分の非力さに打ちのめされるそうです。

生徒の半分は男子で、その中に九里卒業の三人もプロをめざして頑張っていました。小柄で半円形の瞳が印象的な安孫子睦子さんは、今、プロの美容師を育てる職場で輝いています。(S五十二年卒 高橋 有子 記)

輝いています。(S五十二年卒 高橋 有子 記)

ザンビアの子どもたちと生き生きと

実行委員長 新井 千香代 (S59年卒)

総会報告

6月26日

今年度の同窓会総会は「八と九」のつく卒業学年の当番となりました。会場は例年同様東京第一ホテルでした。研修会では本校教諭の鈴木精先生より、海外青年協力隊で行かれたザンビアでの活動の内容。現地の子供たちの様子や生活のお話をお聞きしました。その後の親睦会では、卒業間もない同窓生が沢山集まり、久しぶりの再会に盛り上がっていました。また、卒業以来二十数年振りに集まったクラスもあり、担任の先生を囲んで賑やかなおしゃべりが続きました。アトラクションでは卒業生と現役生によるダンス部の発表と、プロの尺八奏者として活動をはじめた卒業生萱森一平君の演奏や、先輩後輩、そして先生方全員参加で三人ひと組で行われたトイレットペーパーの引き合いは、真剣な眼差しで短いペーパーを引き合う姿に、会場は爆笑に包まれました。

今回は、少しでも多くの方々において頂けるようにとなるべく出費を抑え会費を下げてみました。料理の質等満足のいくものになっていたか不安はありましたが、ご参会の皆様のおかげで持ちまして楽しいひと時が過ごせました。今後はもつともつと若い世代の方々にお集まり頂けるよう、同窓会ホームページを利用して周知の徹底を図って募集していきたいと考えます。



尺八を演奏する萱森君 (H20年卒)

親子三代 九里です

- 渡部 マツさん (旧姓 竹内 S33年卒)
- 渡部 良子さん (旧姓 横田 H2年卒)
- 渡部 愛さん (2年生)



今回は関にお住まいの渡部さんにクリスマスマヌエラの中、学校まで足を運んで頂きお話を伺いました。マツさんが卒業アルバムの中からとても貴重な物をお持ち下さいました。それは九里とみ先生、蒲生、黒金両校長先生、九里茂三先生の写真でした。若かりし頃の茂三先生の精悍で美男子な写真にとっても感動しました。

昭和三十二年当時は被服科、商業科各二クラスで、被服科だったマツさんは和裁洋裁文化刺繍などの勉強にがんばっておられたそうです。文化刺繍の額を大切にとっておられるそうで、それはすこいお宝ですよね！またスキー授業があり、御成山までスキーをかついで歩いたそうです。どんなスタイルで滑っていたのでしょうか？

良子さんはフォークソング部と文芸部掛け持ちで、

(S46年卒 畠山 みち子 記)

友達の時はすこい団結力だったそうです。マツチの時はすこい団結力だったそうです。部活で遅くなった愛さんを迎えに出た時のこと、愛さんを送ってきたくださった上村先生にびっくり！良子さんが文芸部の時の顧問の先生だったので。愛さんは現在新聞部で活躍中ですが、母子で顧問の先生が同じだったのです。とても不思議な縁を感じたそうです。

新聞部の部員が減り、一人何役もやらなければなりません。とても充実した毎日だそうです。食料系専門学校への進学を目指し、将来の夢をふくらませておられました。

時代の流れを実感したひと時でした。



より強く

九里ソフトボール部

長い歴史と伝統を持つソフトボール部です。現在、二年生六名、一年生十一名で毎日元気に活動しています。夏は灼熱の太陽の下で、真っ黒になって練習に励み、シーズン中は遠征や合宿で心・技・体を鍛えてきました。保護者をはじめ多くの方のご協力により、新人戦では数年ぶりに地区大会優勝を取ることができました。ソフトボール部に関わって下さっている方々に、改めて感謝申し上げます。県大会では、ベスト8という成績でしたが、ベスト4の壁、インターハイ出場の壁を乗り越えるよう、今よりもっと強い九里ソフトボール部を目指していきます。

(顧問 佐藤 健太 記)

九里祭参加 同窓生作品展

若い卒業生が、カレー屋さんをしました。美味で、完売しました。作品展では、明治四十三年卒業生の刺繍、雛形、手芸品を展示、当時から惚ばれました。絵画、書、ちぎり絵、生花、アートフラワー、藤の作品、刺し子、ミニ盆栽、飯豊支部の皆さんの手芸など力作ぞろいでした。

手作りコーナーでは、カレンダラーを使ってペーパーバック作りをしました。今年の同窓生コーナーに、皆さんも足をお運びください。



遠藤 岩根 先生
お久しぶりです 皆様

Always look on the
bright side of life.

(いつも人生は明るい方を見よう)



おぼえていますか
友達の顔

夢を語った
旧い校舎を

手探りで
生きてたあの日

もうかえない
遠いあの頃

私が音楽の教科書で出会

った歌詞です。私が米沢女子高校に御世話になったのは、東京五輪の前の年でした。やがて千五百名を超す学生が集うことになる直前の頃です。今では校舎も当時とはずいぶん様変わりしました。はじめての担任は一年三組。私が高校一年の時も三組、しかも担任の先生は九里茂三先生でしたので、何か運命的なものを感じ、とても嬉しかったのを憶えています。授業は一年と三年の五クラスの英語を持たせてもらいました。毎日が楽しかった。この時の一年生も六〇歳を越えられました。Time flies like an arrow. ですね。以来約四〇余年、多くの同僚、何よりも前途有為な心優しい生徒の皆さんに支えて頂き、無事勤務出来ましたことに感謝です。ただその間、無限の可能性を持つ生徒にどのくらい素敵な言葉をかけてあげることが出来たか。教育は、英語の語源では「引き出す」という意味がありますが、自分はむしろ諸嬢の素晴らしき芽を摘んでこなかったか等、この年になっても反省しきりです。

ロマン・ロランは「人生には往復切符は発行されない。一度出発したら二度とは



下駄に服を穿

右から三番目が私です

「私の高校時代と今」の原稿依頼を受けてしまいました。暫く文章を書いていない事や、脳の衰えも加え自信がなくなりました。五十数年も前にタイムスリップの記憶？古いアルバムの探し物から始まりました。結婚以来新しい家族のアルバムは沢山有りますが、その古いアルバムはなかなか見つかりません。…が有りました。その思い出の頁をめくり一日中その中に浸りました。一コマ一コマ甦るあまりにも遠い昔。その中の一枚に下駄を履いた不思議な写真！右から三番目が私です。セーラー服に二十八枚折りヒダのスカートの下下にはしっかりと下駄が写っているではありませんか。天眞爛漫な私の高校時代です。その頃は通学時の履物は靴ではなく米沢の学生はほとんど下駄での登校でした。アルバムの中にはバスケット部の仲間や、クラスの友達と写った芋煮会、学園祭の劇にも出ていた写真もあり、頭の中が混乱状態です。懐かしいセーラー服は三十二年卒業生で終了。翌年からジャケットと箱ヒダのスカートに変わりました。

アルバムの中から、忘れていた。ふるさと。学生時代の私と向き合う機会を得、楽しい時をありがとうございました。ふるさとは遠きにおいて思うものではなくて近くに思うものにしたいたいと考えております。

卒業後は就職、結婚等で関東で生活するようになりましたが、現在は「道しるべ」と称するサークルで山歩きや史跡巡り、ダンス等健康であります。私の生活の周りの人々にも感謝です。

私の高校時代

井上しげ (旧姓 鳥貴)

(さいたま市在住)

帰ってこない」と記し、一回かぎりの人生を、今を大切に生きることを我々に教えています。

時には目を覆いたくなるような事件も起こる現世ですが、皆様には、人間としての温かさ、人間の痛みがわかる、社会のオアシスの役割を果たして下さる生き方を期待しています。それこそが学園創立者、九里とみ先生の教育の願いの一つと思うから。お元気でね。



先頭が筆者の井上さん

進路課にインタビュー



百年に一度の大不況、就職大氷河期と言われ、皆が必死に乗り越えようともがいていますが、その波は現役高校生をも巻き込んでいくことでしょう。かつて就職率100%と言われた母校の今が気になり、担当の熊澤先生にお聞きしました。

Q1 就職状況について

十二月末現在、縁故、公務員を含め四十九名が内定しています。就職内定率は前年同期と同じ100%です。卒業生の方々が築いて下さった伝統「九里は明るく素直で意欲的」を汚さないよう在校生も頑張っています。

Q2 進学希望者の割合と傾向について

二十二年度の進学希望者は六十%で、大短二十六%、専門三十四%です。分野は多岐にわたりますが、医療、福祉、保育などの希望が増えています。

Q3 四年制大学、短大、専門学校の比率について

進学全体の中で、四年制大学が三十一%、専門学校が五十六%です。進学率は近年六十〜七十%で、短大は減少傾向にあります。

「学習にも部活にも進路にも一生懸命な九里」をぜひこれからも応援して下さい。

自分の進路に満足 93%

主な進学先

【大学・短大・医療系専門】
山形大学、福島大学、琉球大学、東北芸術工科大学、東北学院大学、宮城学院女子大学、東北福祉大学、東北薬科大学、仙台大学、明治大学、法政大学、龍谷大学、東洋大学、専修大学、駒沢大学、亜細亜大学、城西大学、国際医療福祉大学、米沢女子短期大学、東北文京大学短期部、三友堂病院看護専門学校、山形医療保健衛生学院、等

尚、進路に関するアンケートで「自分の進路に満足」が本校九十三%（全国七十七%）となっています。

教えてください

国体、インターハイ参加の経験談



校長先生の「学園近況」にあります。九里学園では今年百十周年を迎えます。この節目に当たり今まであった「部活動後援会」を再編し、体育系・文化系の部活動をより広く、そして強力に支えられるようなものにパワーアップしていく予定だそうです。そのため、各部の永い歴史を整理しまとめる作業に今年度は取り組みたいということです。

まだまだ本校で把握しているものだけでは足りない。同窓生の皆様から情報を頂きたいというこ

広告を募集します
 一区画 5,000円
 (3.5cm×5cm)
 この会報に掲載
 希望の方を募集しています。
 詳しくは同窓会事務局まで

編集後記

「笑い」は免疫力を上げ、多くの酸素を自然に取り入れることが出来、心身共に元気にしてくれます。また、脳は作り笑いと本物の笑いを区別が出来ないそうですから、大声で笑って嫌なことを吹き飛ばして、元気に生活していきましょう。

アドレス <http://all-kunori.net/>
 投稿はメール、封書、はがきでお送り下さい。
 (1)メールあて先
 dousou@tw.kunori-h.ed.jp
 (2)封書、はがき(表紙の住所を「宛先」)



同窓生の集い(総会)は、六月二十五日(土)です。その運営担当は卒業した年が〇と一のつく学年昭和三〇、三一、四〇、四十一、五〇、五十一、六〇、六十一、平成元年、一〇年、十一、二〇、二十一)です。
 詳しくは別紙を参照の上、申し込みいただきますようご案内いたします。また、左記アドレスからお申し込み頂けますのでご利用ください。

